

国土技術政策総合研究所コンプライアンス・アドバイザー委員会 議事概要
(平成30年度 第2回)

- 開催日時 : 平成30年12月25日(木) 15時00分～16時00分
○開催場所 : 三田共用会議所
○出席委員
委員長 川村 英二 弁護士
委員 久保田 尚 埼玉大学 大学院理工学研究科 教授
委員 桑野 玲子 東京大学 生産技術研究所 教授
委員 宮崎 哲 公認会計士

(委員は五十音順)

○議事概要

平成30年度国土技術政策総合研究所コンプライアンス推進計画実施状況(中間報告)

【主な質問及び回答】

- 任期中の研究成果を学会で発表する事は、交流研究員が任期中に知り得た情報漏洩の禁止に該当することになるのか。
→ 任期中の研究成果を発表しようとする場合、当所の同意を得ることになる。同意を得て行われるため、研究成果の発表は情報漏洩の禁止には該当しない。
- 情報セキュリティの自己点検というのは何を行ったのか。チェックリストの記載内容は何か。
→ 自己点検チェックリストにより点検している。内容は「媒体の扱い方や外部への持ち出し」などである。特に情報をコアに扱う管理レベルの人には、立ち入り制限区域の管理などをチェックしている。
- 情報セキュリティだけでなく職員のモラルに関わることとして、SNSの利用について注意喚起や教育(ミーティングや研修)の状況を教えて欲しい。
→ SNSに特化した講習や訓練は行っていないが、情報セキュリティポリシーの中で情報の取り扱いについて定めてあり、研修等の内容の中で特に注意を促していきたい。

【各委員からの主な意見】

- 情報セキュリティは、攻撃する側が日々複雑かつ巧妙に進化しているので、守る側も常に進化し、管理徹底しなくてはならない。
- 自己点検や内部監査の結果を自己評価したうえでフィードバックし、理解が弱かった部分に、研修の重点を置くなどの取組みに繋げていくと効果的なものになる。

【総評】

- 平成30年度コンプライアンス推進計画の中間報告は、計画どおりに取り組んでいる。